

写真管理基準

令和 8 年 10 月

名古屋市緑政土木局

目 次

写真管理基準

1. 総則

- 1-1 適用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-2 工事写真の分類・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2. 撮影

- 2-1 工事写真の撮影基準・・・・・・・・・・・・ 2
- 2-2 撮影方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2-3 ICT活用工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2-4 写真の省略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2-5 写真の編集等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2-6 撮影の仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2-7 撮影の留意事項等・・・・・・・・・・・・・・ 3

3. 整理提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

4. その他

- 4-1 用語の定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4-2 3次元データによる写真管理・・・・・・・・ 4

撮影箇所一覧表(全体)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ I-1

撮影箇所一覧表(品質管理)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ II-1

撮影箇所一覧表(出来形管理)

- 第3編 工事共通編・・・・・・・・・・・・・・・・・・ III-1
- 第4編 河川編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ III-32
- 第5編 砂防編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ III-35
- 第6編 道路編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ III-37
- 第7編 緑地公園編・・・・・・・・・・・・・・・・・・ III-44
- 第8編 下水道編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ III-52

参考資料

- ICT活用工事(土工)実施要領
- ICT活用工事(舗装工)実施要領
- ICT活用工事(河川浚渫)実施要領
- 工事施工記録写真作成方法
- デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について(通知)他

写真管理基準

1. 総則

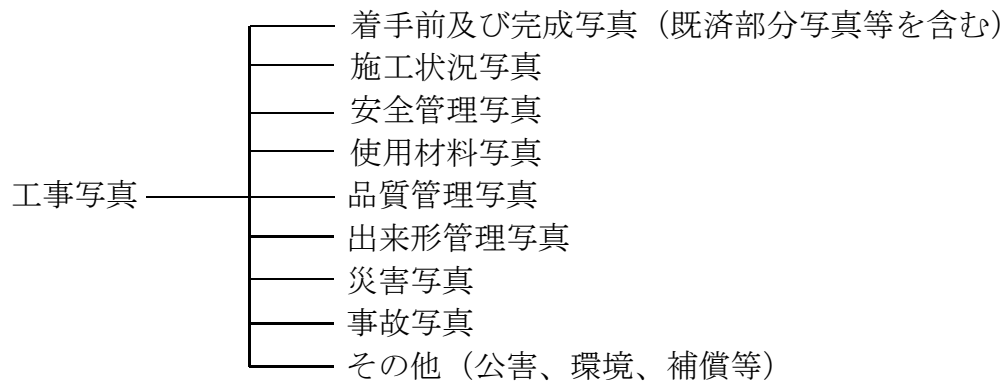
1-1 適用範囲

この写真管理基準は、請負工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理に適用する。また、写真を電子納品する場合に適用する。

なお、写真を電子納品しない場合は、別に定める「工事施工記録写真作成方法」による。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



- (1) 着手前及び完成写真（既済部分写真等を含む）（全景）
工事現場全体の着手前と完成後の状況把握のため撮影をする。
- (2) 施工状況写真
目的物の築造に必要な作業が適切に実施されていることを証明するために作業の施工状況を撮影する。
- (3) 安全管理写真
安全管理状況の**確認**のために撮影する。
具体的には、各種標識類、安全施設、保安要員等交通整理状況、安全教育状況写真を撮影する。
- (4) 使用材料写真
設計図書に使用すべきものとして**指定**された工事材料の検査実施状況及び**確認**された形状寸法等を撮影する。
- (5) 品質管理写真
施工管理のために行なった試験または測定状況及び測定値を撮影する。
- (6) 出来形管理写真
目的物の出来形が図面と適合していることを証明するために、その検測状況・結果を撮影する。

- (7) 災害写真
災害による被災状況及び被災規模等を撮影する。
- (8) 事故写真
事故状況を撮影する。
- (9) その他（公害、環境、補償等）
環境対策（イメージアップ等）、被補償関係について撮影する。

2. 撮影

2-1 工事写真の撮影基準

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

工事写真の撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準（国土交通省）」に規定する写真情報（写真管理項目－施工管理値）に必要事項を記入し整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、「ICT活用工事（土工）実施要領（名古屋市緑政土木局）」、「ICT活用工事（舗装工）実施要領（名古屋市緑政土木局）」及び「ICT活用工事（河川浚渫）実施要領（名古屋市緑政土木局）」の規定によるものとする。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等「請負工事品質管理基準（名古屋市緑政土木局）」表—2 公的機関等一覧表参照）で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出

来形管理状況のわかる写真を工種毎に 1 回撮影し、後は撮影を省略するものとする。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、「**デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について**」（名古屋市緑政土木局）に基づく小黑板情報の電子的記入は、これにあたらぬ。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は 3 : 4 程度とする。

(100 万画素程度～150 万画素程度)

2-7 撮影の留意事項等

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が**確認**できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督員に**提出**するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は、「**電子納品に関する運用基準（名古屋市緑政土木局）**」に基づくものとする。

なお、電子媒体で**提出**しない場合（フィルムカメラで撮影し、提出する場合）は「**工事施工記録写真作成方法（名古屋市緑政土木局）**」による。

4. その他

4-1 用語の定義

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により**確認**できる必要最小限の箇

所や枚数のことをいう。

(2) 不要とは、「**デジタル写真管理情報基準（国土交通省）**」の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。

4－2 3次元データによる写真管理

3次元データによる施工管理をする場合には、写真管理基準のほか「**3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）国土交通省**」の規定による。

また、「**TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領 国土交通省**」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか同要領の規定による。

なお、市の仕様書等に定めがないものは、国の仕様書等を準用するものとする。

撮影箇所一覧表（全体）

区 分		写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
着手前 ・完成	着手前	全景または代表部分写真	着手前 1 回 [着手前]	
	完成	全景または代表部分写真	工事完了後 1 回 [完成後]	
施工状況	工事施工中	全景または代表部分の工事進捗状況	月 1 回 [月末]	
		施工中の写真	工種、種別毎に、設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 [施工中]	
			創意工夫、社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 [施工中]	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付する。
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工個所に 1 回 [施工前後]	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて [発生時] ただし、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における空中写真測量（U A V）」による場合は、撮影毎に 1 回（写真測量に使用したすべての画像（ICON フォルダに格納）） [発生時] ただし、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における地上型レーザースキャナー（T L S）、地上移動体搭載型レーザースキャナー（地上移動体搭載型 L S）、無人航空機搭載型レーザースキャナー（U A V レーザー）、T S（ノンプリズム方式）、T S 等光波方式、R T K－G N S S による場合は、計測毎に 1 回 [発生時]	工事打合簿に添付する。

撮影箇所一覧表（全体）

区 分		写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に 1 回 [設置後]	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に 1 回 [設置後]	
		交通誘導警備員交通整理状況	各 1 回 [作業中]	
		安全訓練等の実施状況	実施毎に 1 回 [実施中]	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に 1 回 [使用前]	品質証明に添付する。
		品質証明 (JIS マーク表示)	各品目毎に 1 回	
		検査実施状況	各品目毎に 1 回 [検査時]	
品質管理		別添 撮影箇所一覧表（品質管理）に準じて撮影		
		不可視部分の施工	適宜	
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表（出来形管理）に準じて撮影		
		不可視部分の施工	適宜	
		出来形管理基準が定められていない	監督員と協議事項	
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 [被災前] [被災直後] [被災後]	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	発生前は、付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害または損害状況等	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	
	環境対策 現場環境改善等	各施設設置状況	各種毎 1 回 [設置後]	

撮影箇所一覧表（品質管理）

撮影箇所一覧表（品質管理）

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
無筋・鉄筋コンクリート、舗装コンクリート（レディーミクストコンクリート及び現場練コンクリート）（施工）	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に 1 回	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できるもの
	単位水量測定	[試験実施中]	
	スランプ試験		
	コンクリートの圧縮強度試験		
	空気量測定	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
	コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に 1 回 [試験実施中]	コンクリート舗装の場合適用
	コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合	
	コンクリートの洗い分析試験	[試験実施中]	
無筋・鉄筋コンクリート、舗装コンクリート（レディーミクストコンクリート及び現場練コンクリート）（施工後試験）	ひび割れ調査	対象構造物毎に 1 回 [試験実施中] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により施工完了時の状況（全周）の提出によりひび割れ調査写真を代替することができる。	
	テストハンマーによる強度推定調査	対象構造物毎に 1 回 [試験実施中]	
	コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]	
鋼材（ガス圧接）（施工）	外観検査	検査毎に 1 回	
	超音波探傷検査	[試験実施中]	
既製杭工（施工）	外観検査（鋼管杭）	検査毎に 1 回 [試験実施中]	
	鋼管杭・コンクリート杭・H 鋼杭の現場溶接浸透探傷試験（溶剤除去性染色浸透探傷試験）	試験毎に 1 回 [試験実施中]	
	鋼管杭・H 鋼杭の現場溶接放射線透過試験		
	鋼管杭の現場溶接超音波探傷試験		
	鋼管杭・コンクリート杭（根固め） 水セメント比試験		
	鋼管杭・コンクリート杭（根固め） セメントミルクの圧縮強度試験		
下層路盤（施工）	現場密度の測定	各種路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	プルーフローリング	路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	平板載荷試験	各種路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合	
	土の液性限界・塑性限界試験	[試験実施中]	
	含水比試験		

撮影箇所一覧表（品質管理）

撮影箇所一覧表（品質管理）

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
透水性舗装路盤 （施工）	現場密度の測定	各種路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	ブルーフローリング	路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	平板載荷試験	各種路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
	土の液性限界・塑性限界試験		
	含水比試験		
上層路盤 （改良路盤材を除く） （施工）	現場密度の測定	各種路盤毎に 1 回	
	粒度	[試験実施中]	
	平板載荷試験		
	土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
	含水比試験		
上層路盤工 （改良路盤材） （施工）	現場密度の測定	路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	平板載荷試験		
	骨材のふるい分け試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
	含水比試験		
セメント・石灰安定処理路盤 （施工）	粒度	各種路盤毎に 1 回 [試験実施中]	
	現場密度の測定		
	セメント量試験及び石灰量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
	含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
加熱アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		
アスファルト舗装 （再生アスファルト含む） （プラント）	配合試験及び試験練	合材の種類毎に 1 回	
	粒度	[試験実施中]	
	アスファルト量		
	アスファルト量抽出粒度分析試験		
	温度測定（アスファルト・骨材・混合物）		
	マーシャル安定度試験		
	基準密度試験		
	動的安定度試験		

撮影箇所一覧表（品質管理）

撮影箇所一覧表（品質管理）

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
アスファルト舗装 （再生アスファルト含む） （プラント）	水浸ホイールトラッキング試験	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	
	ラベリング試験		
アスファルト舗装 （再生アスファルト含む） （舗設現場）	現場密度の測定	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	
	温度測定		
	混合物のアスファルト抽出試験		
	混合物の骨材粒度分析試験		
	外観検査（混合物）		
	すべり抵抗試験		
グースアスファルト舗装 （プラント）	配合試験及び試験練り	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	
	貫入試験 40℃		
	リュエル流動性試験 240℃		
	動的安定度試験		
	曲げ試験		
	粒度		
	アスファルト量抽出粒度分析試験		
	温度測定		
グースアスファルト舗装（舗設現場）	温度測定	合材の種類毎に 1 回 [試験実施中]	
埋戻工及び盛土工 （建設発生土） （施工）	現場密度の試験	土質毎に 1 回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
	ブルーフローリング	工種毎に 1 回 [試験実施中]	
	平板載荷試験	土質毎に 1 回 [試験実施中]	
	現場 CBR 試験		
	含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
	コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
	たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]	
埋戻工及び盛土工 （改良土） （施工）	現場密度の試験	土質毎に 1 回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
	ブルーフローリング	工種毎に 1 回 [試験実施中]	

撮影箇所一覧表（品質管理）

撮影箇所一覧表（品質管理）

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
埋戻工及び盛土工 （改良土） （施工）	平板載荷試験	土質毎に 1 回 [試験実施中]	
	現場 CBR 試験		
	含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
	コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
	たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]	
埋戻工及び盛土工 （購入土） （施工）	現場密度の測定	土質毎に 1 回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
	ブルーフローリング	工種毎に 1 回 [試験実施中]	
	平板載荷試験	土質毎に 1 回 [試験実施中]	
	現場 CBR 試験	土質毎に 1 回 [試験実施中]	
	含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
	コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
	たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]	
河川土工 （施工）	現場密度の測定	土質毎に 1 回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
	含水比試験	含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
	コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
路床安定処理工 （施工）	現場密度の測定	路床毎または施工箇所毎に 1 回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSS を用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する。	
	ブルーフローリング	路床毎に 1 回 [試験実施中]	
	平板載荷試験		
	現場 CBR 試験		
	土の含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
	たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]	
固結工（粉黛噴射攪拌工、高圧噴射攪拌工、スラリー攪拌工）	土の一軸圧縮試験	材質毎に 1 回 [試験実施中]	
アンカー工	モルタルの圧縮強度試験	材質毎に 1 回 [試験実施中]	
	モルタルのフロー試験		

撮影箇所一覧表（品質管理）

撮影箇所一覧表（品質管理）

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 [試験実施中]	
	土の一軸圧縮試験	材料毎に 1 回 [試験実施中]	
排水性舗装工・透水性 舗装工 (プラント)	配合試験及び試験練	合材の種類毎に 1 回	
	粒度	[試験実施中]	
	アスファルト量抽出粒度 分析試験		
	温度測定（アスファルト・ 骨材・混合物）		
	マーシャル安定度試験		
	基準密度試験		
	動的安定度試験		
	空隙率		
	透水係数試験		
	水浸ホイールトラッキング 試験		
	ラベリング試験		
	カンタブロ試験		
排水性舗装工・透水性 舗装工 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に 1 回	
	温度測定	[試験実施中]	
	混合物のアスファルト抽 出試験		
	混合物の骨材粒度分析試験		
	現場透水試験		
	外観検査（混合物）		
ガス切断工 (施工)	表面粗さ	試験毎に 1 回	
	ノッチ深さ	[試験実施中]	
	スラグ		
	上縁の溶け		
ガス切断工 (施工)	平面度	試験毎に 1 回	
	ベベル精度	[試験実施中]	
	真直度		
溶接工 (施工)	引張試験（開先溶接）	試験毎に 1 回 [試験実施中]	

撮影箇所一覧表（品質管理）

撮影箇所一覧表（品質管理）

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
溶接工 （施工）	型曲げ試験（開先溶接）	試験毎に 1 回	
	衝撃試験（開先溶接）	[試験実施中]	
	マクロ試験（開先溶接）		
	非破壊試験（開先溶接）		
	マクロ試験（すみ肉溶接）		
	引張試験（スタッド溶接）		
	曲げ試験（スタッド溶接）		
	突合せ継手の内部欠陥に 対する検査		
	外観検査（割れ）		
	外観形状検査 （ビート表面のビット）		
	外観形状検査 （ビート表面の凹凸）		
	外観形状検査 （アンダーカット）		
	外観形状検査 （オーバーラップ）		
	外観形状検査 （すみ肉溶接サイズ）		
	外観形状検査 （余盛高さ）		
	外観形状検査 （アークスタッド）		
	ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて [試験実施中]	
工場製作工	外観・規格（主部材）	1 橋に 1 回または工事に 1 回	
	外観検査（付属部材）	[現物照合時]	
	機械試験	1 橋に 1 回または 1 工事に 1 回 [試験実施中]	
橋梁補修工 （施工）	エポキシ樹脂の外観検査	試験毎に 1 回	
	エポキシ樹脂の比重	[試験実施中]	
	エポキシ樹脂の圧縮降伏 強度		
	エポキシ樹脂の曲げ強度		
	エポキシ樹脂の引張強度		
	エポキシ樹脂の圧縮弾性 係数		

撮影箇所一覧表（品質管理）

撮影箇所一覧表（品質管理）

工種	写真管理項目		摘要
	撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
プレキャストコンクリート製品 (JIS 認証品以外)	曲げ・圧縮・引張り試験	試験毎に 1 回 [試験実施中]	
山砂（客土用）	土の粒度試験	採取地毎に 1 回 [試験実施中]	
	土懸濁液の PH 試験方法		
	有害物質（電気伝導度）		
たたき粘土	土の粒度試験	試験毎に 1 回 [試験実施中]	
	土粒子の密度試験		
	土の含水比試験		
	土の透水試験		
土舗装材	土の粒度試験	試験毎に 1 回 [試験実施中]	
	土粒子の密度試験		
	土の含水比試験		
クレー舗装材	土の粒度試験	試験毎に 1 回 [試験実施中]	
	土粒子の密度試験		
	土の含水比試験		
	硬度（施工）	1,000 m ² 毎に 1 回 [試験実施中]	
アンツーカー舗装材	土の含水比	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
	土の粒度試験		
	硬度（施工）	1,000 m ² 毎に 1 回 [試験実施中]	
舗装用石材 積・張用石材	岩石の見掛比重	産地または岩質毎に 1 回 [試験実施中]	
	岩石の圧縮強さ		
	岩石の形状		
高木	高さ	樹種別、規格別に 1 回 [試験実施中]	
	幹周		
	枝張		
中低木	高さ	樹種別、規格別に 1 回 [試験実施中]	
	枝張		
特殊樹木	高さ	樹種別、規格別に 1 回 [試験実施中]	
	幹周		
	枝張または尺		
地被類	茎長	樹種別、規格別に 1 回 [試験実施中]	
	芽立		
木材	木材の加圧防腐処理方法	材料毎に 1 回 [試験実施中]	
	クロソート油、加工タール、タールピッチ（特記による）		
	木材の浸漬式防腐処理方法		
	含水率		
	保存運処理剤浸度試験		

撮影箇所一覧（出来形管理）

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度 [撮影時期]	
3 工事共通編	3 一般施工	9 地盤改良工	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m または 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	
3 工事共通編	3 一般施工	9 地盤改良工	6		サンドマット	施工厚さ 幅	40m または 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	
3 工事共通編	3 一般施工	9 地盤改良工	7・8		バーチカルドレーン工 （サンドドレーン工） （ペーパードレーン工） （袋詰式サンドドレーン工） 締固め改良工 （サンドコンパクションパイル工）	打込長さ 出来ばえ	200 m ² または 1 施工箇所に 1 回 〔打込み前後〕	
						杭径 位置・間隔	200 m ² または 1 施工箇所に 1 回 〔打込後〕	
						砂の投入量	全数量 〔打込み前後〕	
3 工事共通編	3 一般施工	9 地盤改良工	9	1	固結工 （粉末噴射攪拌工） （高圧噴射攪拌工） （スラリー攪拌工） （生石灰パイル工）	杭径 位置・間隔	1 施工箇所に 1 回 〔打込後〕	
						深度	1 施工箇所に 1 回 〔打込前後〕 ただし、（スラリー攪拌工）において、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。	
3 工事共通編	3 一般施工	9 地盤改良工	9	2	固結工 （中層混合処理）	施工厚さ 幅	1,000m ³ ～4,000m ³ につき 1 回又は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 回 〔施工厚さ、施工中〕 〔幅、施工後〕 ただし、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。	

【第3編 工事共通編】

参 考 資 料

I C T活用工事(土工) 実施要領

I C T活用工事(舗装工) 実施要領

I C T活用工事(河川浚渫) 実施要領

工事施工記録写真作成方法

デジタル工事写真の黒板情報電子化の運用について（通知）

3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）国土交通省

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編

多点計測技術(面管理の場合)国土交通省

TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領 国土交通省

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)表層安定処理等・固結工
(中層混合処理)編 国土交通省